

月刊 千葉労働

動労千葉結成10周年!

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989.4.10 No. 3010

4.13 春闘勝利 第二波スト

ストライキで大幅賃上げを
をかちとろり!

結成十周年記念
しせむしよん
ハネル展、スライド上映計画
★四月二十五日(十三時)★労働者福祉センター

すべての組合員のみならず!

動労千葉は、第八回支部代表者会議において、

四・一三、一七ストライキを軸とした春闘統一行動を確認した。

スト拠点は、

四・一三第一波スト

▽幕張支部
(幕張電車区及び営業協

議会)

四・一七第二波スト

▽新小岩地区

▽佐倉地区

(新小岩機関区、佐倉機関区及び営業協議会)

われわれは、このスト

決起を力に、

☆四・一四動労総連合定

期中央委員会(千葉職

員集会所・十三時)

☆四・一五動労千葉十周

年記念レセプション(

千葉県労働者福祉セン

ター大ホール・十三時

・家族を含め全力結

集)

☆四・一七清算事業団公

判(千葉地裁・地裁口

ビ・九時四〇分集合)

の取り組みを全力で貫

徹し、八九春闘勝利、大

幅賃上げ獲得、要求貫徹

にむけて全力で決起しよ

うではないか!

今、労働者の生活と権利はことごとく破壊されようとしている。

政府・自民党・支配階級は、自らが生きのびるために、「空前の好景気」であるが、しかし確実に危機が迫っているがゆえに、賃上げ抑制、福祉切り捨て、年金改悪などを強行し、戦争国家化へと突き進んでいる。

一方、「連合」や既成指導部は、完全に屈服し、労働者の切実な要求を踏みにじっているのだ。

われわれは、四%か五%とばかりの賃上げでがまんすることなど絶対にできない。消費税の導入と便乗値上げによって、「物価」は、うなぎ昇りで

ある。四%や五%は、実賃上げや要求を實力でもぎりとする。この原点に、自民党の腐りきった連中の懐には、労働者からしほりつつ七兆円・八兆円もの「不労所得」がころがりこむのである。

本格的な反撃の突突破口!

第二に、この闘いは、

反合・運転保安確立、清算事業団闘争勝利、自民党・竹下内閣打倒にむけた本格的闘いへの突突破口でもある。

怒りは渦巻いている。しかし、国民の九五%が不支持を表明する竹下が何故居直っていられるのか? この好機に、労働者がハラをすえて闘いに起ち上がらないからだ。すべての組合員のみならず! 怒りを結集し闘いに起とう! 春闘勝利! 総力をあげてストライキを貫徹しよう!

パツ子処分は 不当労働行為

東京都労働委員会が認定

春闘スト決起、四・一五レセプションを成功させ、強権的労務支配を打ち破ろう!

三月二日、東京都労委は、国労東京新幹線支部組合員七五名に対する「勤務時間中の国労パツ着用」を理由とした嚴重注意処分と夏季手当カットを不当労働行為と認定し、処分の撤回と手当カット分の支払いをJR東海に命じた。都労委命令は、「パツ着用は正当な組合活動」「就業規則などで禁止すべきではない」「パツ着用で職場規律や業務の運営に支障したとか、そのおそれがあったとは認められない。処分や手当減額は組合活動を理由とする不利益扱い。国労の弱体化を狙った

支配介入」としている。▼春闘山場の現在、私鉄総連などの組合員は堂々とワッペン着用。▼これは当り前の組合員活動。都労委のパツ勝利命令も当り前。しかし当局は、「増収活動不参加者は他職場にトレードする」、国労組合員の「蛍光ペン着用は「見ばえが悪い。はずせ」(いずれも千葉駅)と恫喝し、いまだに不当労働行為を白昼公然と強行する。

4.13スト拠点

幕張支部
営業協議会指名スト

スト拠点に 総力 結集しよう